

機械器具(6) 呼吸補助器
高度管理医療機器
持続的自動気道陽圧ユニット(37234000)
特定保守管理医療機器 **S9レスポンド** の付属品
エアチューブ / 加温チューブ

*【形状、構造及び原理等】

1. 外観図

- エアチューブ

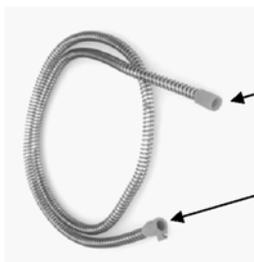


(スリム)



(スタンダード)

- 加温チューブ



温度センサ

加温チューブコネクタ

2. 構成

- エアチューブ(スリム / スタンダード)
- 加温チューブ

3. 寸法

種類	寸法
スリム	全長:1800mm
スタンダード	全長:2000mm
加温チューブ	全長:2000mm

4. 作動原理

加温チューブは、加湿器と併用することで、結露を防止するとともに患者に適切な加温加湿したエアを供給する。

- 加温チューブ内のヒーターにより、チューブを加温する。
- 加温チューブ先端コネクタ部の温度センサにより供給エアの温度を測定し、フィードバック制御を行うことにより、適切な温度・湿度を保つ。

5. 使用環境

(1) 以下のような環境に設置し使用すること。

- 周囲温度 :5~35℃
- 相対湿度 :10~95% (結露のないこと)
- 気圧 :680~1060hPa

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

睡眠時無呼吸症候群およびその他の呼吸不全に対する呼吸補助

*【使用方法等】

1. 使用前の操作

(1) 加湿器を使用する場合

- 本体を水平な場所に置く。
- 本体の電源が切れていることを確認する。
- 本体に加湿器を取り付ける。

- 水チャンバーを取り外し、給水口から水を入れ、最高水位まで給水する。水チャンバーを加湿器に戻し、カバーを閉める。
- ACアダプタのDC電源プラグを本体後部に接続する。
- ACアダプタの他端をACコンセントに差し込む。
- 本装置をエアチューブ接続口(加湿器)に接続する。加温チューブを使用する場合には、加温チューブコネクタを加温チューブコネクタ接続ポートに接続する。
- 人工呼吸器用マスク(以下マスクと記載)を本装置の他端に接続する。

(2) 加湿器を使用しない場合

- ACアダプタのDC電源プラグを本体後部に接続する。
- ACアダプタの他端をACコンセントに差し込む。
- エアチューブ(加温チューブは使用不可)をエアチューブ接続口に接続する。
- マスクをエアチューブの他端に接続する。

2. 以降の操作は「S9レスポンド」本体の操作に準ずる。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 加湿器は、常に患者の身体よりも低く、平らな面に配置すること。[本体やエアチューブ等の内側に水が浸入する可能性がある]

*【使用上の注意】

- 加温チューブにシーツや毛布等をかぶせないこと。[火災・過加熱のおそれがある]
- 酸素には支燃性がある。喫煙中または直火のある場所では酸素を使用しないこと。

**【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

<使用者による保守点検事項>

(1) 毎日

- 本装置を取り外し、次回使用時まで清潔で乾燥した場所に吊り下げておく。

(2) 毎週

- 本装置を加湿器およびマスクから取り外す。
- ぬるま湯と中性洗剤で本装置を洗う。
- よくすすぎ、直射日光のあたらない場所に吊るして自然乾燥させる。

(3) 複数患者間においての使用

病院、クリニックおよびスリープラボ等の医療施設において、エアチューブや加温チューブを複数患者間に使用する場合には、以

** 下に例示する製造元が推奨する方法、または、各医療施設にて定められた方法にて消毒すること。

** なお、製造元では下記の消毒条件における製品の耐久性を確認している。

<エアチューブ / 加温チューブ>

方法	内容	耐久回数
薬液消毒	フタラール0.55%液 12分	100回
熱湯消毒	エアチューブ 75℃ 30分	100回
	加温チューブ 75℃ 30分	26回

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元:

レスメド株式会社

TEL03-5829-4410

製造元:

****** ResMed Pty Ltd / レスメド ピーティーワイ リミテッド(オーストラリア)

発売元(連絡先):

フクダ電子株式会社

(連絡先) 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4

****** TEL:03-3815-2121(代)